



▲柳浄水場内の「ろ過池」

柳浄水場には6つの「ろ過池」があります。「ろ過池」には、水を砂利や砂の層に通してごみを取り除く役割があります。一番

④ろ過池

「着水井」とは、浄水場の入り口のこと。浄水場に届いた水の量を調整する役割があります。

③着水井

取水口から取られた水は、「沈砂池」で砂や大きなごみを取り除きながら、ゆっくりと柳浄水場へと運ばれていきます。

②沈砂池

高隈山の南側を流れる高牧川には、水を取るための「取水口」が設置されています。

①取水口

人知れず頑張る縁の下の力持ち



ひそかに活躍！「水道管」

水を運ぶため、道路下で常に活躍しているのが「水道管」。市の水道管の総延長は約1,200km。直線距離にすると、市から宮城県仙台市までの長さと同じくらいになります。

現在は、硬質塩化ビニールという硬くて丈夫な素材でできている水道管が主流で、市の水道管の約8割に使われています。

しっかり計測！「水道メーター」

給水装置の中には「水道メーター」が設置されています。使った水の量を正しく量るための器具です。

水道メーターは、8年に1回取り替えることが計量法で定められています。

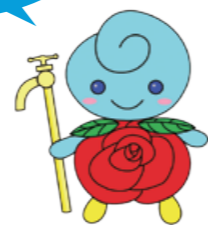


▲水道メーター

しっかり制御！「中央監視制御装置」

この装置は、設備や機械が故障なく動いているかどうかを365日24時間休むことなく見守っています。

水道の水が飲めるってうれしいよね！



す。これはどこの蛇口からでも一定の濃度を保つことが法律で決められているからです。

きれいになった水をいったんためておくための施設です。市内には31か所の配水池があります。柳浄水場のように地下に設置されているものもあれば、ステンレス製、コンクリート製の配水池もあります。

⑤配水池

底に小石、その上に粗めの砂利、砂利の順で敷かれています。汚れた付いた砂は、約1か月に1回交換しています。

⑥各家庭や学校、企業へ

⑥各家庭や学校、企業へ

水は配水池から道路地下へ埋められた水道管を通り、給水装置を経て、各家庭や学校、企業などに運ばれます。

このように長い道のりを経て、安全・安心な水が皆さんのもとに届くのです。

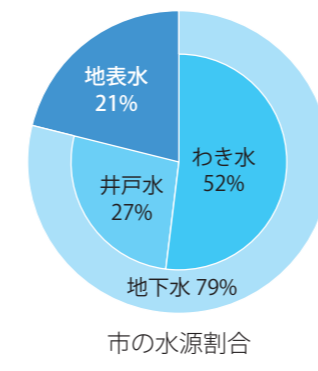


高須小学校

わたしたちの「水道水」

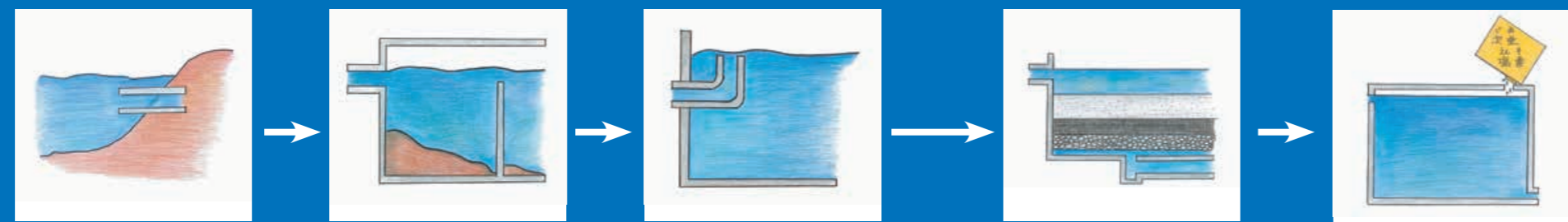
水は自然が育んだ限りある大切な資源です。人間だけでなく、地球上に生きている動植物など多くの生物は、水が無くては生きられません。水道の蛇口を開けたままにしませんか。川にごみを捨てていませんか。貴重な水を守るためには、一人ひとりの心掛けが大切です。今回は、安全・安心な「水道水」を生み出すために、市がどのような取り組みを行い、どのようにわたしたちに運ばれていくのかを知り、改めて「水道水」について考えてみましょう。

岡市上下水道部業務課 ☎0994-43-2800



私たちの飲み水はどこから来るのか？
水道の水源は、わき水や井戸水などの「地表水」、川や湖などの水である「地表水」、「ダムにためた水」の3つに分けられます。市内には「高隈ダム」、「輝北ダム」という2つのダムがあります。これらはいずれも、飲み水ではなく農業用水として使われています。市の水道は主に「地下水」を利用しています。市の地下水は安定した水質で、複雑な処理を必要としません。鹿屋市はきれいな水に恵まれていると言えます。川から取り入れた水を使う場合は、そのままでは飲み水として使えません。安心して使える水をつくるには、「浄水場」が必要です。市内には、「柳浄水場」(上野町)と「吾平浄水場」(吾平町麓)の2か所の浄水場があります。ここでは、「柳浄水場」の施設を例に、「水道水」の生い立ちについて説明します。

川の水(地表水)から「水道水」が
できあがるまで



- ①取水口 川から水を取り入れます
- ②沈砂池 水に混ざっている砂やごみを取り除きます
- ③着水井 浄水場の入り口です
- ④ろ過池 水を石や砂等でろ過し、きれいにします
- ⑤配水池 消毒して安心して飲める水をためておきます
- ⑥各家庭・学校・企業 水道管を通して各家庭・学校・企業へ届けます